



普及センターだより

新規就農者等が獣害対策を実習!

普及センターでは、農業経験の浅い方等を対象とした「農業基礎講座」を毎年開催しています。

11月29日に実施した講座では振興局担当者と協力し、獣害対策の講義や防護柵の設置実習を行いました。受講者は獣の生態や防護柵を効果的に設置する手法について、自らの経営に活かせるよう熱心に受講されました。今後とも農業基礎講座の内容充実を図るため、先輩農家からの講話や実習をカリキュラムに組み込む等の工夫に努めていきます。

(写真 結束方法を説明する普及指導員(左))

京都府中丹広域振興局農林商工部

◆発行◆
2017年(平成29年)1月

にし
中丹西農業改良普及センター

〒620-0055 福知山市篠尾新町1-91
TEL 0773-22-4901

e-mail:chushin-no-nishi-nokai@pref.kyoto.lg.jp

ひがし
中丹東農業改良普及センター

〒623-0012 綾部市川糸町丁畠10-2
TEL 0773-42-2255

e-mail:chushin-no-higashi-nokai@pref.kyoto.lg.jp

～様々な角度から頑張る方々を紹介～

京力農場プランの実現による 地域農業の維持・発展

京力農場プランは中丹3市80地域で作成され（12月時点）、普及センターは、個別の訪問活動と集合研修の開催を2本の柱に活動を展開しました。訪問活動では、その地域が話し合いで決めたルールを聞き取ったり、管内の先進事例や補助事業を紹介してきました。「中丹京力農場プラン現地交流研修会」（8月25日、農業者46名参加）では、各市1地域の事例報告とパネルディスカッション、現地法人の見学会を開催しました。



地域特産物の振興による 地域の活性化

中山間の日当たりの悪いほ場でも栽培できる「山ブキ栽培」に、集落ぐるみでの取り組みが進んでいます。福知山市三岳地区では、昨年3月に設立された「みたけ山ブキの会」が、会員の山ブキをカット、塩漬けにして、市内の佃煮業者へ約1tを販売しました。

また、集落営農組織等を対象に栽培ほ場（福知山市）で講習会を開催し、雇用労力を活用した栽培管理や収穫作業の経営事例を学びました。参加組織は今秋から定植作業を行い、栽培をスタートしています。

山ブキ栽培を希望される方は普及センターへご相談ください。



地域で活躍する農業士

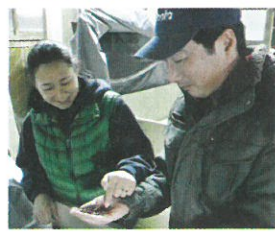


衣川 重人 さん
(福知山市夜久野町)

現在、中丹農業士会の会長を務めています。地域では、担い手不足による耕作放棄地が増え、先祖から代々受け継がれてきた農地の荒廃が目立ってきました。生まれ育った地域を守り、発展させていくためには、新たな担い手を確保・育成して地域活性化の気運を高めなければなりません。そのため、まずは、自らが経営を法人化して担い手を確保することから始めることにしました。将来的に法人の後継者を育成していきながら、地域の後継者としての自覚も高めていければと思っています。

担い手養成実践農場研修修了者にきく

＜就農準備型＞



就農地を探して西坂町を訪れた際、この地域の雰囲気を感じて「就農するならここだ」と決めました。地域の方にお世話になって2年間の研修を実施し、平成27年12月に就農することが出来ました。経営規模を一気に拡大したことから、作業手順や労働力配分を試行錯誤する毎日です。仕事はしんどいことも多く、休日もほとんどありませんが、決まらなくは感じません。まじめに取り組んでいるとサポートしてくれる方も現れます。農業で大切なことは地域や人と関わりを持ち、わからないことは周囲の方々に尋ね、自分なりの正解を探すことだと思っています。今後は、家族経営を基本にしながらいずれ雇用を使うことで、もう少し子供達との時間をとれるようにしたいと考えています。

赤堀 圭司 さん
(平成27年 就農)
綾部市西坂

経営内容(28年度)

黒大豆枝豆	100a
万願寺甘とう(施設)	7.5a
小豆	25a
水稲	100a

その他に、今年度に取り組んだ 普及重点計画の活動概要を紹介します!

地域農業を担う 法人の経営支援

綾部市の中核的担い手として位置づけられている、集落営農型法人の支援を行っています。今年度は適期作業を実践するため、役員・オペレーター間の携帯メール等の活用により情報共有の強化ができました。雑草や獣害対策等の解決すべき課題はまだ多くあり、さらに農地集積が進む中で新たな課題が出てくること予想されます。引き続き経営改善に向けた取り組みに対する応援をしていきます。



「万願寺甘とう」 「黒大豆枝豆」の産地強化

中丹産京野菜の代表品目である「万願寺甘とう」のブランド産地強化を目指し、重点対象農家を中心に、温度管理、肥培管理、病害虫予防等の基本技術の徹底を行い、技術力のアップを図りました。また、全ての栽培農家を対象にして時期ごとに栽培技術資料を配付し、技術講習会を開催しました。

今年度の新たな取り組みとして現地での病害虫発生等タイムリーな技術速報を集出荷場に掲示し、全生産者にお知らせしました。その効果もあり、過去最高の出荷量を更新しました。今後も更なる産地力向上を目指し、バックアップしていきます。



若い担い手の育成

12戸の若い農業者を重点対象として個別に支援活動を行いました。栽培技術の助言だけでなく経営研修会に参加してもらうなど、それぞれの農業者の能力向上をめざしました。今後の経営計画や課題解決について検討するなど、今後も若い農業者を支援していきます。

また、若手の茶生産者が多い「にのくに茶業青年団」に対し、技術向上や消費宣伝活動の助言・支援を行いました。今年度は各種イベントで中丹のお茶を知ってもらうため、中丹産玉露のお茶カフェを開き、茶加工品の開発、試食会開催など茶の魅力を積極的にPRしました。



特色ある米づくりの推進

酒米の「祝」、「五百万石」および酒造用掛け米「京の輝き」の安定生産技術の普及を目標に、関係機関と連携した巡回指導により技術支援を行いました。また、今年度は防除講習会や現地互見会等生産者同士、或いは実需者と交流できる機会を設け、生産者が技術研鑽できるように支援しました。

今年度は9月の長雨で品質低下、減収になったものの、生産量目標は概ね達成する見込みです。



京力農場プランではなほたく地域

内久井・金河内・坊口地区 (綾部市志賀郷北部)

- ・中心となる担い手 10戸+1法人
- ・農地面積 65ha
- ・スローガン 『次世代へつなごう美田と特産! ~犀川の源流として環境にやさしい農業の拡大~』

内久井、金河内、坊口は綾部市北西部に位置しています。坊口は平成24年に金河内は25年に単独でプランを作成していましたが、それぞれの集落が個別に農地利用を調整していたため、農地の荒廃化は止められなかったという危機感から、平成27年の3集落合同のプラン作成に至りました。

プランや地域営農の特徴は、次の4点です。

- ① 個人の中核的担い手を明確にし、農地中間管理事業を活用しながら積極的な事業を進める。
- ② 法人化と併行して補助事業で大型農業機械を整備する。
- ③ 法人は個人担い手が受けられない農地を受け入れることとし、耕作放棄地は発生させない。
- ④ 農地中間管理事業で得た地域集積協力金は、主に3集落共通の課題である獣害防護柵の設置に使う。



総延長10kmに及ぶ防護柵



個人担い手の水路を補修

〇〇さん家のお料理レシピ 「なます」

〈材料(4人分)〉

大根	500g
人参	100g
豆腐	300g
塩	少々
白ゴマ	50g
★味噌	大さじ2
★砂糖	大さじ5
★酢	大さじ3
ゆずの皮	1/4個

- ① 大根、人参は千切りにして、塩でしんなりさせる。
- ② 白ゴマを炒ってする。豆腐もすって★の調味料を入れて味を調える。
- ③ ①を絞って②の中に入れる。
- ④ 皿に盛り付けてゆずの皮の千切りを飾る。

※糸こんにゃくを入れてもよい。



~白ゴマは油が出る程度までするとおいしい~

舞鶴市生活研究グループの皆さんにお聞きしました。





中島健太郎 さん
(福知山夜久野町)

平成15年に就農しましたが、農業だけで生計を立てるのは難しいので、経営の6次産業化を考えて、2年後に法人化しました。

農産加工・販売に取り組むことで、経営が安定し、地域での雇用もできました。3年ほど前から地域の環境保全と同時に資源活用できるジビエにも取り組んでいます。若い農業者へ道筋を示せるようにしたいと思っています。



泉 陽一 さん
(舞鶴市西方寺)

高校卒業後、都会暮らしをしていましたが、約10年前に故郷の舞鶴市西方寺に帰って親元で就農しました。昨年からは親の経営を引き継ぎ、採卵養鶏、水稻、万願寺甘とうの複合経営を行っています。今後は、これからの舞鶴市の農業を考えるにあたり、微力ながら貢献できたらと考えています。

～3月末に退任される農業士さん～

渡辺 弘造 さん (綾部市)



新しい農業士さんです

後継者の育成等
よろしく
お願いします!



添田 潤 さん
(舞鶴市西方寺)

就農するために舞鶴に来てから15年程が経過しようとしています。今までたくさんの農業者、地域の方々に支えられ生きてきました。私ができることは新規就農者、農業者がこの地域で暮らしていけるようにサポートする事です。そして地域の万願寺甘とうという産品がますます愛され、農業で生きていく人々と共に農業生産できる体制を整え続ける事だと思っています。

農村はこれから激動の時代に突入し、今の農村の景色は残せないかも知れませんが、農業で暮らしていく人達が生き残れるようサポートさせていただきます。

※添田さんは「青年農業士」退任に引き続き、「指導農業士」をお世話になります。

嵯峨根幹雄 さん
(舞鶴市字引土)

就農後10年が経ちました。その間3度の水害に遭いましたが、再建を目指し、去年から生まれ育った舞鶴市吉田地区でイチゴの養液栽培や、トマト、万願寺甘とうの経営を始めました。これからは、若い世代の農業者に少しでも農業の楽しさや経営のノウハウなどアドバイスできればと考えています。

中丹の茶が農林水産大臣賞と産地賞を受賞!

舞鶴市の南範男さんが、平成28年に三重県で行われた第70回全国茶品評会の「かぶせ茶の部」において、栄えある農林水産大臣賞を受賞されました。また、舞鶴市は5年連続で産地賞を受賞しました。中丹地域の産地賞受賞は9年連続となり、高品質なお茶の産地として全国で評価されています。



賞状を手にする南さん

ふたばグループ(綾部市)が経営参画優秀賞を受賞!

～28年度 近畿農政局男女共同参画優良事例表彰～

地域の農地を活用した農産物の栽培及び加工品「キウウリの醤油漬け(ふたば漬け)・仕出し弁当等を製造・販売されています。また、地元小・中学校において、給食食材の提供やそば打ち体験等の食育活動に励んでおられます。地域住民や地元自治会との交流会(サロン)を開き、地域の人々とふれあい、絆を深め、支え合うまちづくりに貢献されています。



「農業応援隊」のうごき

「農業応援隊」とは、普及センター、市、JA、商工会議所等の職員が隊員となり、農業経営のステップアップを目指す農業者を伴走支援する組織です。

★舞鶴市加佐地区で水稻や万とうを栽培する霜尾喜三さんは、従業員の労働確保や経営安定のため、昨年度に「小さな経営革新チャレンジ支援事業」を活用し、以前から興味があったイチゴ栽培にチャレンジされました。今年度も更に面積を拡大されており、応援隊では栽培が軌道に乗るよう技術支援しています。



★6月30日に中小企業を支援する綾部市商工会議所経営支援員から活動方法を学び、隊員の資質向上と商工とのネットワークづくりを深めています。



ご案内

「農業経営向上のための事業説明会」
●とき：2月16日(木) 13:15～16:30
●ところ：府総合教育センター北部研修所(綾部市川糸町堀ノ内)
※参加希望は最寄りの普及センターまで

農山漁村伝承優秀技能者「農の匠」に認定

伝承技能登録者の内、極めて稀少価値が高く優秀な技能者を毎年認定しています。

技能名	氏名	特長
こうぞ 楮の栽培	やまおか しげる 山岡 茂 さん (綾部市)	「黒谷和紙」の原料となる楮の栽培において、省力栽培及び、剥皮作業の効率化の技術を保持しておられます。
蜜蜂飼育	いのうえ ひでお 井上 秀夫 さん (綾部市)	ユリノキ等の蜜源植物の普及拡大、高糖度で蜜源の特徴を有した蜂蜜生産、飼育管理を行っておられます。
茶栽培と製茶	なかた よしたか 中田 義孝 さん (綾部市)	一番茶の品質向上や緻密な茶園管理、製茶技術により、品質の良い荒茶に仕上げられています。